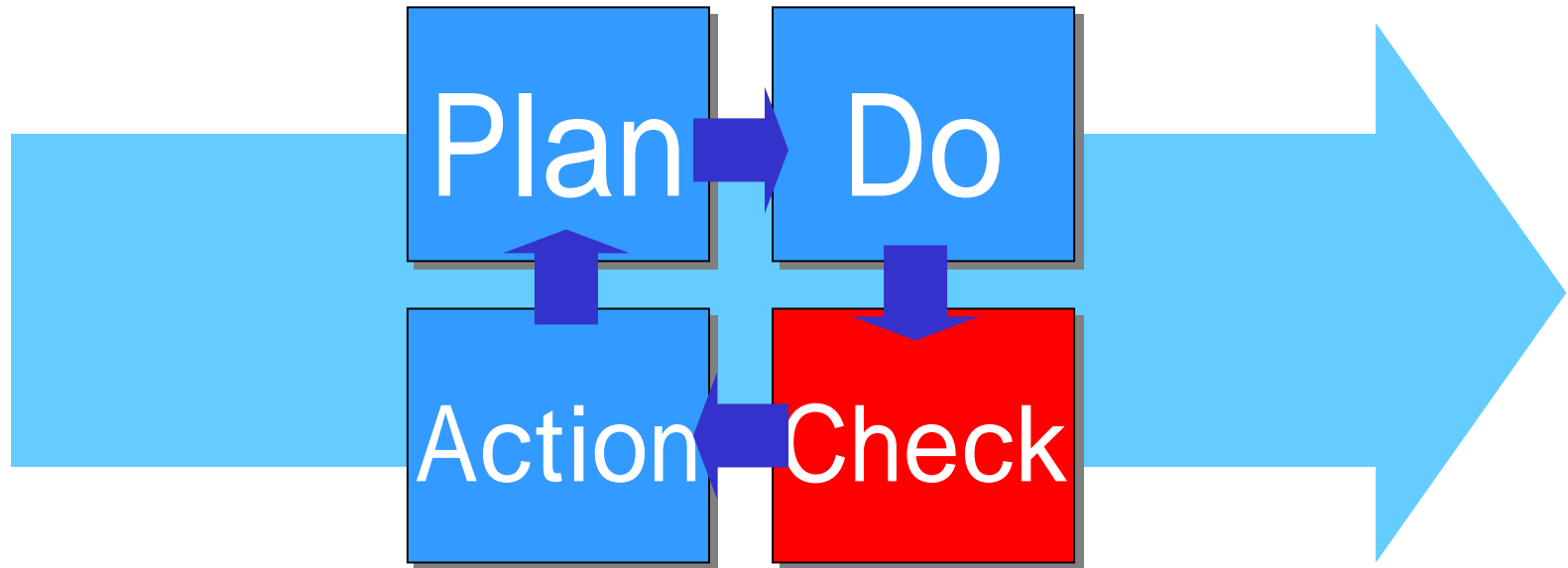


政策マネジメントサイクルによる

# 「まんなかビジョン」の中間評価について



中部の地域づくり  
まんなかビジョンの  
評価結果

中間評価によって、  
良い評価・効果が発現した目標  
一方、様々な情勢変化によって、  
十分な評価・効果が  
得られなかった目標を明確化。

今後、施策・事業の改善や  
「まんなかビジョンの改定」に  
活用して、効果的・重点的な  
社会資本整備を展開します。

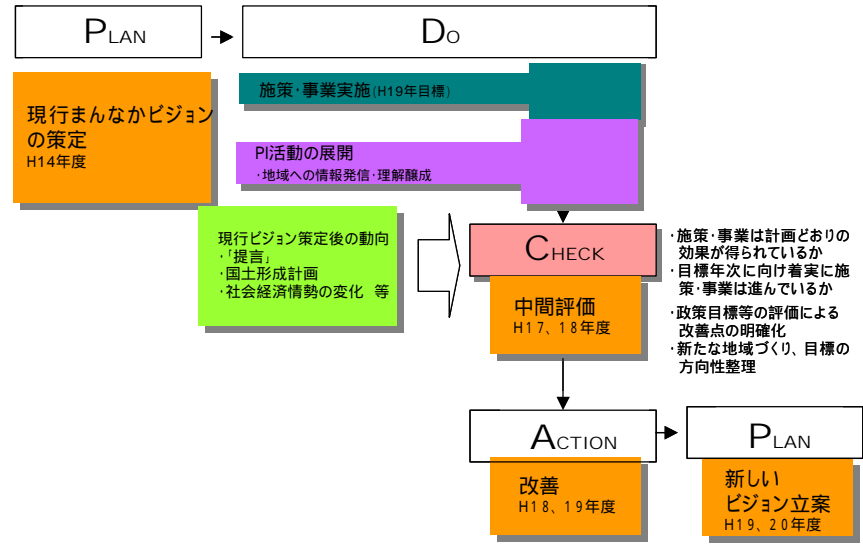
平成14年度以降の社会資本整備の評価結果

# 政策マネジメントサイクルによる「まんなかビジョン」の中間評価について

## 1. 政策マネジメントサイクルについて

政策マネジメントは、まんなかビジョン(Plan)に基づいて、実施した施策・事業(Do)によって、アウトカム目標を着実に達成しているかどうか、客観的に評価(Check【中間評価】)し、次期改定に向け、計画内容の改善(Action)を行うことによって、効果的・効率的に政策を推進しようとするものです。

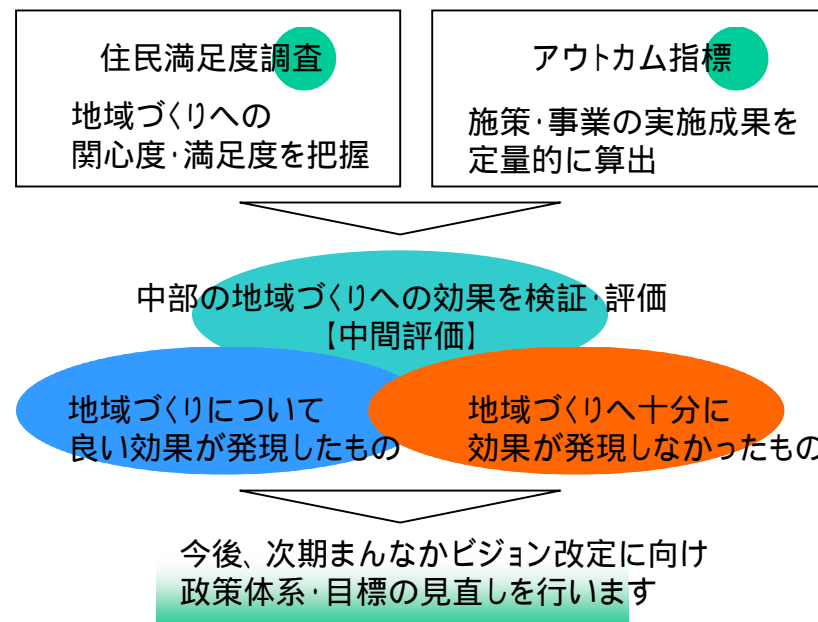
中間評価は、住民満足度調査、アウトカム指標を中心として、まんなかビジョン策定後の社会経済情勢の変化、「提言」(平成17年6月)、国土形成計画の動向等を踏まえて実施します。



## 2. 中間評価について

中間評価は、まんなかビジョンに位置づけられた施策・事業の実施によって、中部の地域づくりにどのような効果をもたらしたかを検証しました。効果の把握にあたっては、中部の皆様のご協力を得て住民満足度調査を実施するとともに、アウトカム指標を算定しています。

今後、この評価結果を基本に、目標年次(平成19年度)に向け目標達成のため施策・事業の改善を行うとともに、次期まんなかビジョンの政策体系・目標の見直しに活用します。



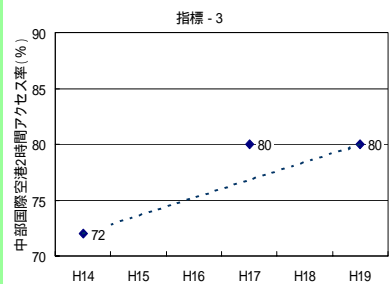
# 中部の産業の国際競争力強化に向けた取組みに関する評価

港・港湾・道路等の社会基盤の整備による物流の迅速性、コストの縮減等が図られ産業の国際競争力強化に寄与

日本のものづくりの拠点である中部地方。しかし、近年、アジア・太平洋地域を中心に国際競争が激化しており競争力の維持が課題。国内外への物流円滑化に資する社会基盤(港湾、空港、道路等)の重点的整備が必要。

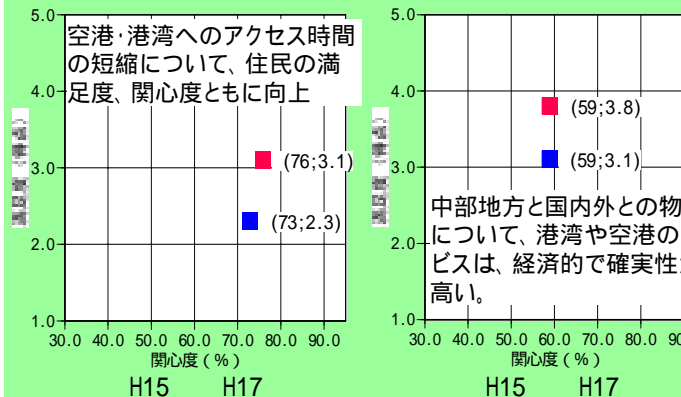
## アウトカム指標の測定結果

中部国際空港2時間アクセス率(%)



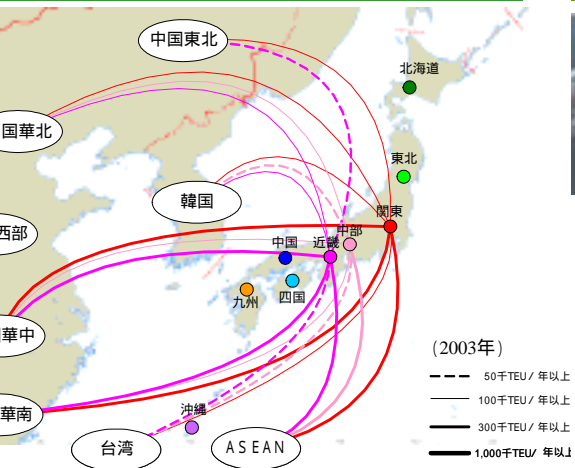
## 住民満足度調査結果

空港・港湾へのアクセス時間の短縮について、住民の満足度、関心度ともに向上



中部地方と国内外との物流について、港湾や空港のピスは、経済的に確実性が高い。

## 中部の特性・現状



アジア・太平洋地域の経済圏の拡大に伴う国際競争の激化  
 「新しい国のかたち『二層の広域圏』を支える総合的な交通体系」  
 「『新しい国のかたち』二層の広域圏」を形成に資する総合的な交通体系に関する検討委員会

## 取組んできた 主な施策・事業



名古屋港  
国際コンテナターミナル整備

セントレア  
(提供: 中部国際空港株)



東海環状自動車道等高速交通ネットワークの進展  
 出典: 国土交通省中部地方整備局資料

## これまでの取組みの評価結果

- 中部国際空港開港、名古屋港等国際海上コンテナターミナルの整備、また、東海環状自動車道等整備による道路ネットワークの形成、円滑化によって製造業等の物流基盤の拡大に寄与。
- アウトカム指標  
 「中部国際空港への2時間アクセス人口」の拡大については、H14の72%から、中間評価年次(H17)においては、H19の目標値である80%を既に達成(H17数値は見込み)。
- 住民満足度調査  
 「国内外物流の経済性・確実性・安全性の向上」は、H15の3.1から3.8(0.7ポイント増)に大幅増加。

さらに強さを増しつつある  
中部のものづくり産業

交通ネットワークの進展による  
物流機能の強化

国内首位を誇る名古屋港の  
国際海上貨物輸送量の増加

当該地方を代表する主要企業の  
世界的規模での市場拡大

産業集積を活かした  
工場立地件数の増加

陸(道路)・海(港湾)・空(空港)の社会基盤の重点的な整備により物流ネットワークが拡大され産業競争力の強化に寄与。今後ハード・ソフト施策を展開し、更なる輸送時間縮減、輸送コスト低減等により一層の産業の国際競争力の強化を推進します。

# 国内外の交流の拡大に向けた取組みに関する評価

名古屋の賑わい創出に関する  
住民満足度は向上。

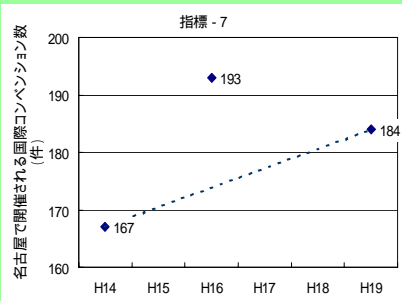
一方、公共交通や自転車など多様な  
交通手段を用いて暮らせる満足度が  
減少。

中部地方の中心都市・名古屋は、中部国際空  
港、名古屋港などの国際ゲートウェイを活用し  
た活力、賑わいの創出が必要。

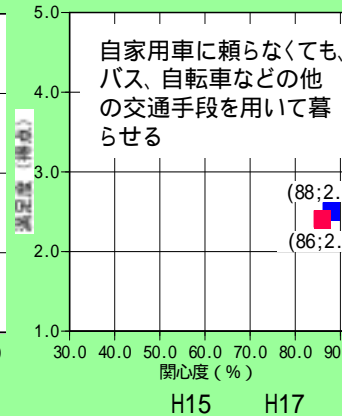
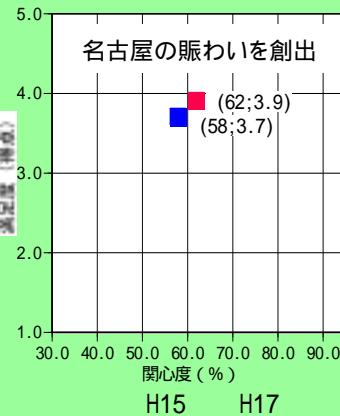
岐阜市、津市、静岡市等の地方拠点都市にお  
いて都市再生、中心市街地活性化に取り組む必  
要があります。

## アウトカム指標の測定結果

名古屋で開催される国際コンベン  
ションの件数



## 住民満足度調査結果



## 中部の特性・現状

国際都市・名古屋の飛躍と  
各拠点都市の魅力向上を目指す中部



世界都市・名古屋  
名古屋駅前



オアシス21  
(出典:オアシス21HP)



国際ゲートウェイ  
名古屋港(イタリア村)



地方拠点整備  
(静岡駅前)

## 取り組んできた 主な施策・事業



名古屋都市再生プロ  
ジェクト(名古屋駅)



地方拠点都市の整備(岐阜市)  
(出典:岐阜駅西地区第一種市街地再開発事業組合)



【整備前】



【整備後】

マイタウン・マイリバー事業(堀川)

## これまでの取組みの評価結果

- 名古屋駅周辺、各地方拠点都市における都市再生プロジェクトが進展。中部の都市の魅力向上に期待。これら都市再生と連携して、ITSの普及促進など交通システムの高度化が進められており、快適、先進的な都市交通の形成を支援。
- アウトカム指標  
「名古屋で開催される国際コンベンションの開催件数」は平成14年度の168回から193回と大幅に増加。
- 住民満足度  
「名古屋の賑わいを創出」は、平成15年度の3.7から3.9(0.2ポイント増)増加。一方、「自家用車に頼らなくても、バス、自転車などの他の交通手段を用いて暮らせる」の満足度は減少。
- 今後は、都市再生プロジェクトの推進とともに、地方都市における公共交通、自転車等の交通手段の充実に取り組む必要がある。

名古屋及び各拠点都市における都市再生プロジェクト等の進展により再生、活性化が期待され、  
また、地方都市の安全性、にぎわい創出、公共交通・自転車などの交通手段を充実する必要があります。

# 環境・景観創造に向けた取組みに関する評価

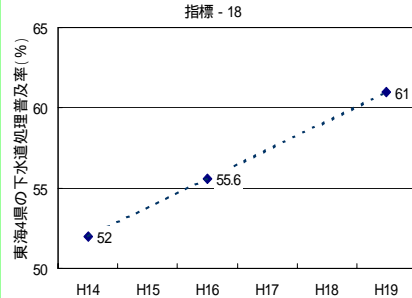
地球温暖化対策の総合化・重点化、景観創造に向けた取組みが重要

CO<sub>2</sub>等温暖化ガスの排出削減には、排出原因の大きな要因を占めている運輸部門の対応が重要。中部では自動車依存度が高いことから公共交通への転換等が必要。また、その他様々な環境問題への対応を推進。下水道整備、建設副産物リサイクル、渋滞対策等は、一定の成果を發揮。しかし、住民の満足度を高めるためには一層の取組み強化が必要。

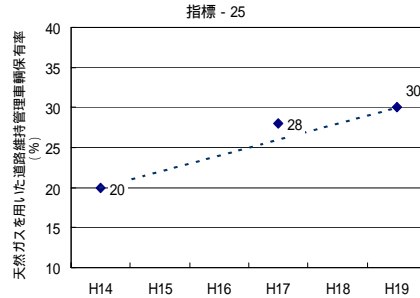
さらに近年、歴史的なまちなみや自然景観等の保全・創造等に期待が高まっている。

## アウトカム指標の測定結果

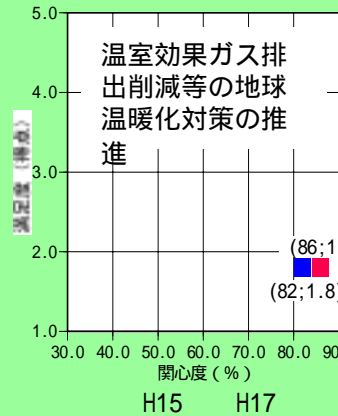
### 下水道普及率



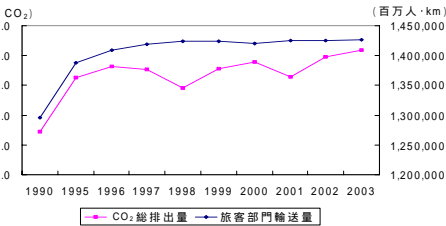
### 天然ガス(CNG)を用いた道路維持管理車両の保有率



## 住民満足度調査結果

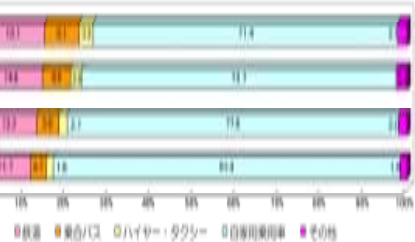


## 特性・現状等



CO<sub>2</sub>排出量の推移 (全国)  
(出典: 環境省HP H18年版環境統計集)

輸送機関別旅客流動分担率の推移 (中部圏)



資料: 旅客地域流動調査  
(国土交通省総合政策局)  
注1: 各県の輸送機関別発人員による。  
注2: その他は、自家用バス、貸切バス、旅客船及び航空である。

## 取組んできた 主な施策・事業



圧縮天然ガス急速充電所



圧縮天然ガス充電の様子



CNG (圧縮天然ガス) バス



浚渫土砂を活用し干潟や浅場を造成

## これまでの取組みの評価結果

- 下水道の整備 (水質保全等)、干潟の保全再生 (動植物の生育生息域の創出、覆砂等)、自然エネルギー活用 (省エネ対策)、建設副産物のリサイクル、地球にやさしいバス入 (CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>、PMの削減等)、渋滞対策等を推進。
- アウトカム指標  
「下水道普及率」は、平成14年度の52%から55.6%と向上。また、「天然ガス(CNG)を用いた道路維持管理車両の保有率」についても平成14年度の20%から28%に向上。
- 住民満足度  
「循環型社会の構築」は、平成15年度の1.7から3.0 (1.3ポイント増) に大幅に増加。一方、「温室効果ガス排出削減等地球温暖化対策」は、今回も1.8と変化がなく、非常に低い結果。
- 今後も施策・事業の総合的・重点的展開により、住民満足度の向上に資する効果発現のための取組みが必要である。

環境・景観形成については様々な取組みが進められています。しかし、地球温暖化対策については、住民満足度の向上に繋がる十分な成果が得られない状況です。今後、施策・事業を重点的・総合的に展開していくことが重要となります。

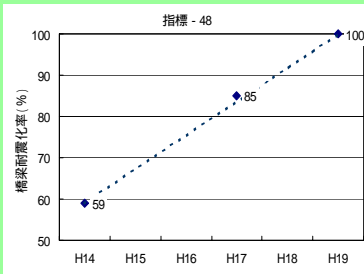
# 安全・安心な国土保全に向けた取組みに関する評価

## 突発的な集中豪雨が多発。 防災面の対策強化に課題

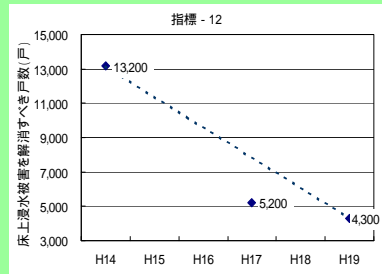
東海・東南海・南海地震等の大地震の発生が懸念される中部地方。また、近年では、地球温暖化等、気候変動の影響も懸念される状況。当該地域でも、集中豪雨による被害が多発。そのため、安全・安心な国土形成に寄与する治水機能の強化、農林地の保水機能維持、道路、岸壁等の耐震化などの防災対策が一層重要に。

## アウトカム指標の測定結果

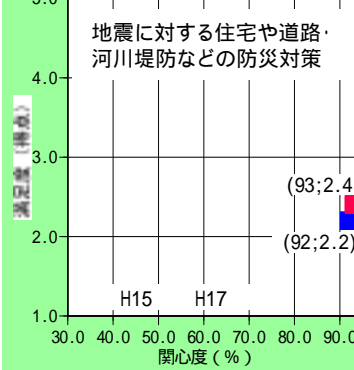
主要緊急輸送路の橋梁耐震化率



床上浸水被害を緊急に解消すべき戸数



## 住民満足度調査結果



## 中部の特性・現状

地球温暖化等による気候変動の影響も想定され、自然災害が頻発するおそれ

東海豪雨 (H12.9) (清須市 (旧西枇杷島町) 状況)



大地震の発生を想定した災害対策が求められる

## 取組んできた 主な施策・事業



耐震岸壁整備  
(名古屋港飛島ふ頭南側コンテナターミナル)



道路橋の耐震化



【施工前】



【施工後】

庄内川河川激甚災害対策特別緊急事業

## これまでの取組みの評価結果

- 懸念される東海・東南海・南海地震の対応として、道路・河川防・岸壁等の耐震化を推進。集中豪雨等による対応として河川砂防事業等による再度災害防止対策の推進。
- アウトカム指標  
「主要緊急輸送路の橋梁耐震化率」は、平成14年度の59%から85%となり、目標値の100%に向けて順調に整備推進。また、「床上浸水被害を緊急に解消すべき戸数」は、平成14年度の約13,200戸から約5,200戸へ大幅に減少した (約8,000戸)
- 住民満足度  
「地震等に対する安全性確保」は、平成15年度の2.2から2.4増加。また、「風水害等の安全性確保」についても、平成15年度の2.3から2.4に微増。一方、災害に関する住民の関心度は約90%に達しており、住民満足度の向上が重要。
- 今後も予期不可能な災害等の発生が懸念され、継続して災害に強い地域づくりを重点的に推進。

地震、東海豪雨等への対策を進めてきていますが、気候変動等の影響により自然災害が多発することが十分に想定されます。住民満足度の向上を目指して、今後とも安全・安心への取組みを重点的・効率的に展開します。

# 平成17年度 満足度調査結果

## 調査概要

### 調査対象及びサンプル抽出方法

中部5県（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県および長野県南信地域）の20歳以上の住民15,000人（中部地方の人口約1,500万人の0.1%）

調査期間：平成18年2月10日～2月24日

回収結果：有効回収数：3,487票 有効回収率：23.2%

## 調査項目

中部の目指すべき7つの方向に関連する「具体的な目標（40項目）」や「近年の社会環境の変化から期待される地域の取組み（8項目）」に対する関心度及び満足度（全48項目）

## 調査結果（全体的な傾向）

### 満足度（平成15年度 平成17年度）

平成15年度と比較して、概ね満足度は向上し、目指すべき方向別では、「モノづくりなど産業の国際競争力の強化」、「世界都市を目指した名古屋と各拠点都市の魅力向上」、「日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流の推進」の分野で大きく満足度が向上した。

項目別では、中部国際空港の開港、「愛・地球博」の開催とそれに伴い整備が進められた高規格幹線道路等の社会資本整備に関連した項目で大きく増加し、事業の実施により満足度が高まった。

「災害」分野の全ての項目で満足度は向上しているものの、低い結果となった。

一方、「公共交通機関の利便性」、「農山漁村の魅力」に関する満足度は低下しており、今後の中部の課題と言える。

### 関心度（平成15年度 平成17年度）

平成15年度調査と比較して、最も関心度が増加したものは「中部国際空港や『愛・地球博』をきっかけにして、国内外から観光客を増やすこと」、「『愛・地球博』の会場へのスムーズな移動を実現すること」であった。

「中部地方における港湾や空港までの行きやすさ」、「環伊勢湾内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）で都市間の移動のしやすさ」、「名古屋の賑わい」等、近年実施された中部地方のビッグプロジェクトに係る項目の関心度が高まる傾向となった。

一方、農山漁村地域を対象とした項目で関心度が大きく減少した。

## 新規項目

平成17年度調査では、「まんなか懇談会ポスト万博宣言 テイクオフ中部2005 国土の健康回復を実現する中部のモノづくり」等をもとに「近年の社会環境の変化から期待される地域の取組み」として新たに8問追加し、関心度及び満足度を聞き取った。

その結果、概ね関心度が高く満足度が低い結果となり、中部の新たな課題として住民にと

目指すべき方向	設 問	満足度（得点）			関心度（%）		
		H15	H17	変化	H15	H17	変
誰もが生き生きと暮らせる豊かでゆとりとした生活環境の実現	あなたの住む地域は、自分の暮らしりにあった住まいを探しやすい（選びやすい）状況にある。	3.0	3.1		79.2	79.2	
	あなたの住む地域は、自動車や歩行者が安全で安心して移動できる。	2.1	2.2		95.7	95.4	
	あなたの住む地域は、誇りを持てるような場所やまちなみがある。	2.6	2.7		85.6	84.7	
	あなたの住む地域の住宅や住環境は、良好だ。	3.2	3.3		93.0	95.1	
	あなたの住む地域は、インターネットや携帯電話などを用いた暮らしに役立つ情報（防犯情報、交通情報等）が入手しやすい。	3.1	3.1		65.1	69.1	
	あなたの住む地域では、ユニバーサルデザイン（誰にとっても利用しやすい）の施設やサービスが充実した環境の作りがすすんでいる。	1.8	1.8		79.1	79.6	
	あなたの住む地域では、まちづくりや環境保全などへの住民参加がしやすい。	2.3	2.3		68.8	66.4	
	あなたの住む地域の公共交通機関は便利である。	2.7	2.6		83.3	82.4	
	あなたのお住まいの住宅は、地球環境への対応が十分なされている。	-	2.2		-	84.1	
	あなたの住む地域では、地域に誇りや愛着を持った地域づくりの担い手となる人が育ちまわっている。	-	2.1		-	66.4	
東海・東南海、南海地震をはじめとした災害に強い安全・安心な地域づくり	あなたの住む地域は、あらゆる災害に対して、避難地・避難路の整備や情報提供の対応が進んでいる。	2.5	2.7		93.0	93.6	
	あなたの住む地域では、地震に対する住宅や道路・河川堤防などの防災対策が進んでいる。	2.2	2.4		92.4	93.4	
	あなたの身近な社会資本（道路・河川・港など）は、適切な維持・管理が行われている。	2.6	2.8		72.5	72.4	
	あなたの住む地域では、洪水・津波・高潮・土砂災害等の災害に対する対策が進んでいる。	2.3	2.4		86.0	85.6	
	あなたのお住まいの地域は、災害に対して安全性の高い場所にある。	-	3.0		-	93.4	
	あなたの住む地域は、3R、廃却物の厳格利用、適正処分など環境負荷軽減のための循環型社会の形成に向けた取り組みが進んでいる。	1.7	3.0		85.3	86.8	
	あなたの住む地域は、もう一度訪れたいと思わせるような魅力ある地域づくりの活動が進められている。	2.0	2.2		79.0	76.4	
	あなたの身近にある河川や海の水はきれいだ。	2.2	2.4		89.6	88.5	
	あなたの住む地域は、自然環境の保全・再生・創出および森林管理が進んでいる。	2.1	2.2		77.8	77.4	
	あなたの豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興	2.9	3.0		87.0	88.4	
中部の豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興	あなたの住む地域は、豊富な自然や歴史・文化を活かした場所やまちなみがある。	2.9	3.0		87.0	88.4	
	あなたの住む地域は、温室効果ガスの排出削減等の地球環境対策が進んでいる。	1.8	1.8		82.4	86.2	
	中部地方の農山村や漁村は、住んでみたい（働いてみたい）と思える魅力がある。	2.4	2.3		61.4	56.8	
	あなたの住む地域では、近隣市町村間と河川の上流地域と下流地域の間で連携した取り組みや交流が活発に行われている。	2.0	1.9		50.6	47.0	
	あなたの住む地域は、風力や太陽光、燃料電池など化石資源から採り出した再生可能なエネルギーが積極的に導入されている。	-	1.6		-	85.4	
	環境化など地球社会の発展が危ぶまれる地域の保護管理や新規就業機会、転入者増など地域の担い手づくりは十分なされている。	-	1.6		-	53.0	
	中部地方と国内外との物流について、港湾や空港のサービスは、経済的で確実性が高い。	3.1	3.8		59.4	59.2	
	中部地方には港湾や空港まで、道路、鉄道、船舶などを便って行きやすい。	2.3	3.1		72.8	75.8	
	中部地方は企業が設備投資や立地しやすい地域である。	3.4	3.7		42.1	42.1	
	中部地方は、港湾・空港での貨物引き取りまでの時間（リードタイム）は短縮されている。	3.2	3.1		48.3	36.6	
モノづくりなど産業の国際競争力の強化	中部地方の都市部においては、大気汚染や騒音等による生活への影響は改善されている。	2.1	2.4		93.0	92.6	
	中部地方の都市部は、安全で快適に生活できる。	2.5	2.8		82.9	80.1	
	名古屋は各種の国際会議が開催されるなど、国際色豊かな都市である。	2.8	3.0		49.3	50.2	
	中部地方の都市部において、水辺や緑地のようなゆとりを許す空間（公園・歩道等）が豊富にある。	2.5	2.7		85.5	82.7	
	名古屋は人が集い、賑わいがある都市である。	3.7	3.9		58.1	62.3	
	あなたの住む地域の中心的な都市の駅前等は賑わっている。	2.0	2.1		77.9	76.5	
	あなたの住む地域から、日々の生活の中心的な都市まで通勤することなく快適に行くことができる。	2.7	2.8		85.9	85.5	
	あなたの住む地域は、自家車に頼らなくても、（バス、自転車などの）公共交通機関を利用して生活できる。	2.5	2.4		87.9	85.5	
	あなたの住む地域における公共交通機関や駅・公園、公共施設等の公共的施設は、平等の機会に対して安全が確保されている。	-	2.0		-	47.3	
	あなたが日頃利用している公共交通機関や駅・公園、公共施設等の公共的施設は、平等の機会に対して安全が確保されている。	-	1.9		-	79.8	
東海環状都市圏、環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大	環伊勢湾内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）で都市と都市との間の経済や文化の交流は活発である。	2.8	3.4		48.9	52.8	
	中部国際空港や「愛・地球博」をきっかけに、国内外からの観光客は増えた。	3.0	3.4		53.8	59.9	
	「愛・地球博」の会場には、スムーズに移動できた。	2.8	3.1		58.3	63.1	
日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流の推進	中部地方は、東京・大阪圏や日本海側、アジアをはじめとする諸外国との経済・社会活動の交流拡大が進んでいる。	2.6	2.9		51.7	51.5	
	北陸方面や紀州方面へ向かう交通網（道路や鉄道）は便利である。	2.5	2.6		61.8	62.4	
	旧東海道・旧山道等においては、街道を活かしたまちづくりやまちなみ整備が進んでいる。	2.8	2.9		69.8	69.4	
	東京・名古屋間、J.R.東海道新幹線などは、わが国の大動脈として安全・円滑・快適で信頼性が高い。	3.9	3.9		83.1	84.1	
	「愛・地球博」の理念が継承され、国内外との交流が活発に行われている。	-	2.8		-	54.5	

